

茅ヶ崎地域のモデル事業の全県展開に 向けた方策について

＜茅ヶ崎地域のモデル事業を通じてわかってきたこと＞

○ 地域で中核的な役割を担う病院を中心とした支援

- 県内の小児の在宅医療については、地域で中核的な役割を担う病院が支援の中心となっていることから、地域の実態を踏まえつつ、この病院を中心としたエリアでの支援体制の構築が望ましい(まずは、二次医療圏等の単位で検討することが想定される)
- また、地域の中核的な病院を支える役割を担う在宅医の参画を促し、病院と在宅医のネットワークを強化することが望ましい

○ 関係機関の顔の見える関係づくりの重要性

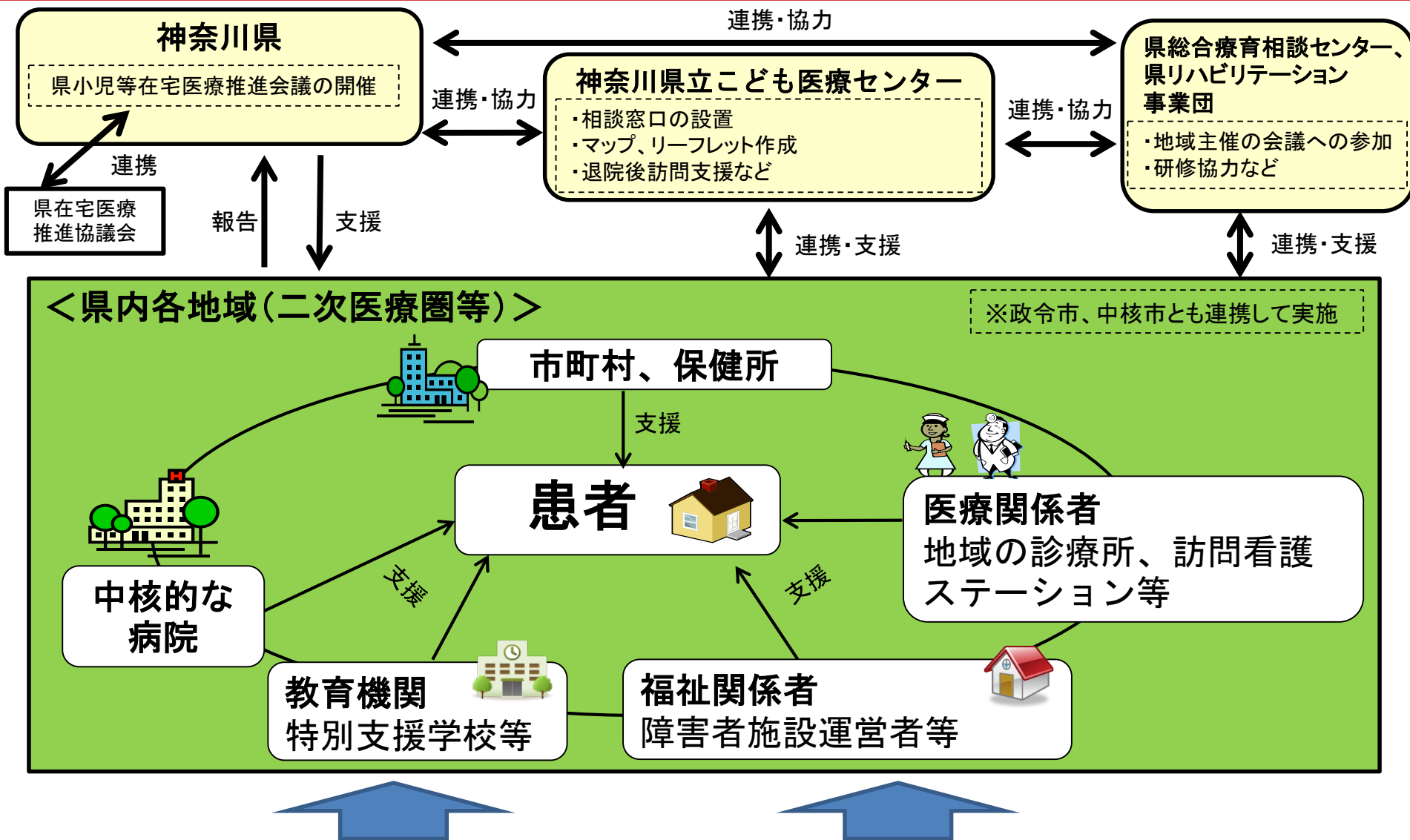
- まずは、行政がリーダーシップを取り、協議の場などを設け、医療・福祉・教育・当事者などの関係者が地域の課題を共有し、解決策を検討する中で、顔の見える関係を構築することが重要



これらに留意して展開方法を考える必要がある

小児在宅医療に係る神奈川県を目指す姿のイメージ(案)

3



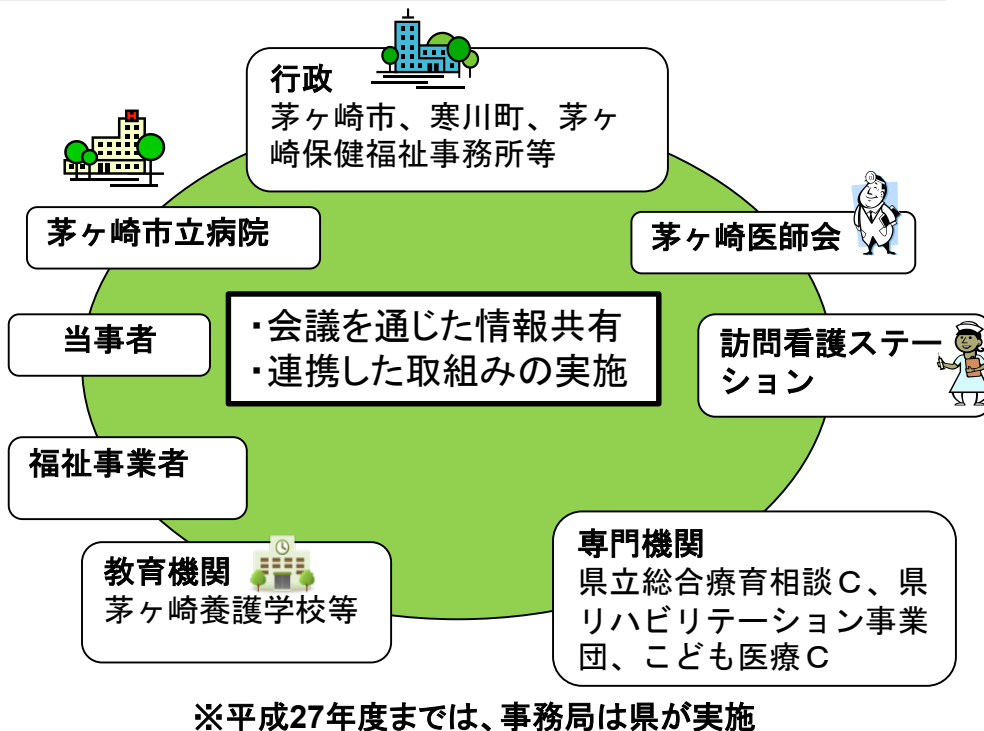
【地域での取組み】

・協議の場の運営、実態調査、各種研修会、交流会、ケースカンファレンス など

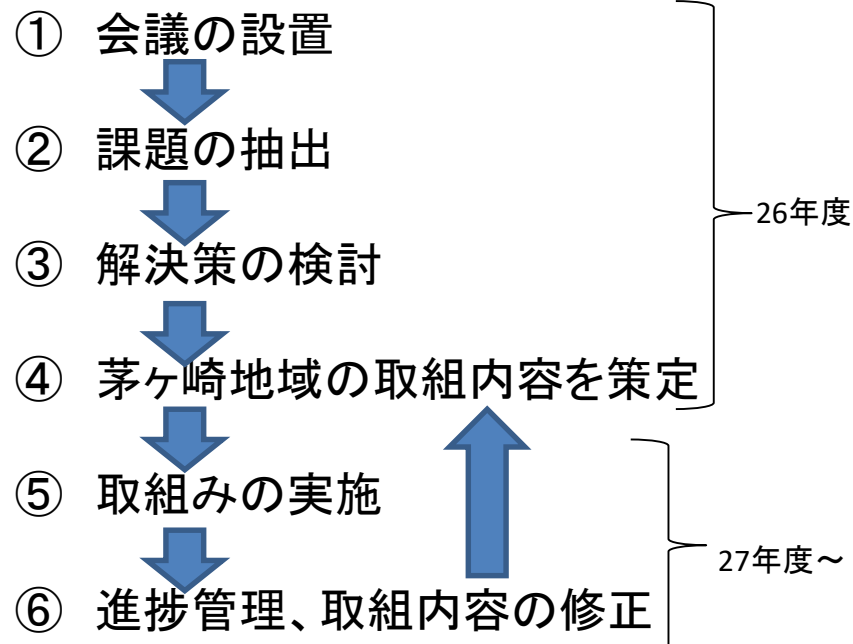
今後の展開(取組内容①)

(地域医療介護総合確保基金を活用)

茅ヶ崎地域のモデル事業の成果の見える化



【地域での取組内容】



モデル事業の成果を報告書として取りまとめ（平成27年度）

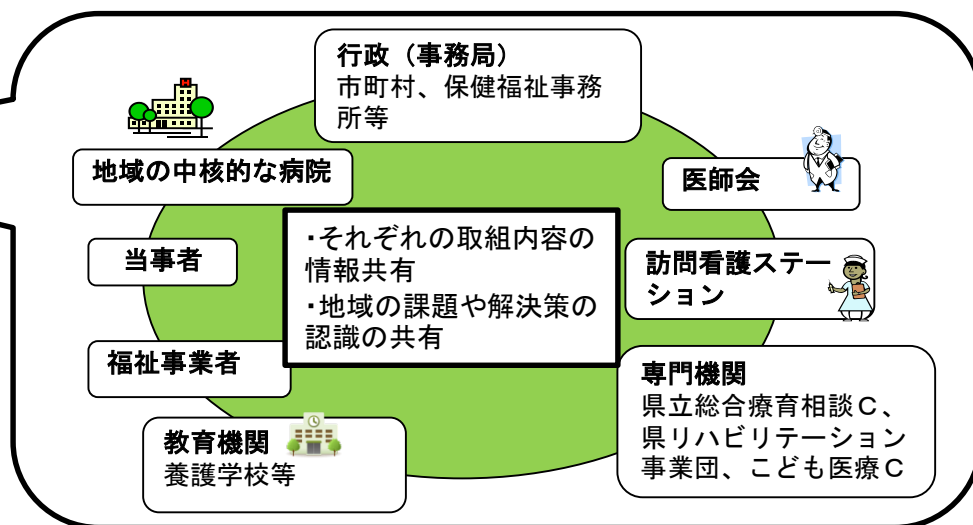
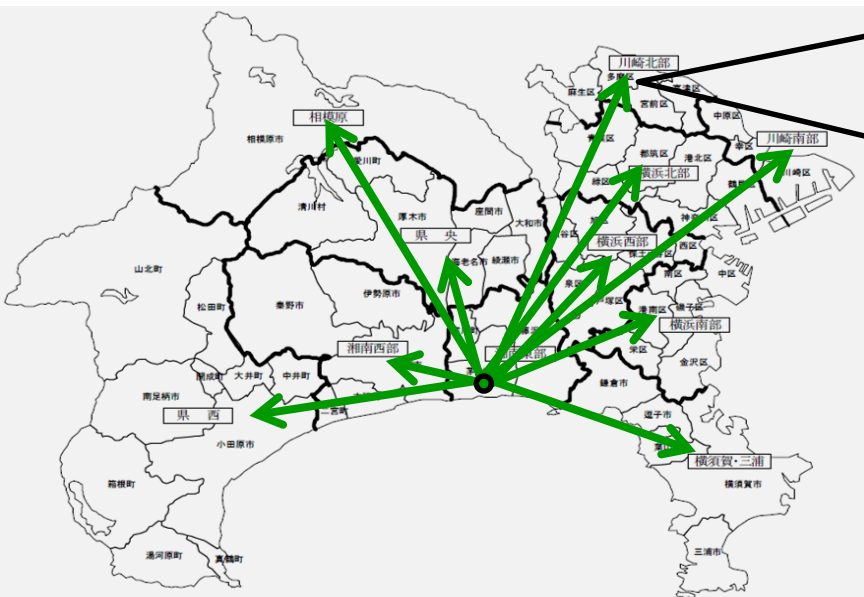
地域における支援体制構築の事例として他の地域で活用を目指す

他の地域への展開イメージ（案）

【方向性】

- 平成27年度以降、茅ヶ崎地域の取組みを他の地域へ展開する。
- 地域の設定に際しては、地域の中核的な役割を担う病院がある二次医療圏等の単位で検討することが考えられる。
- 茅ヶ崎地域の事例を参考にしながら、まずは、行政がリーダーシップを取り、協議の場の設置から始め、地域での合意形成、支援体制の構築を目指す。

【イメージ】



各地域で協議の場を設置を目指す

今後の展開(スケジュール(想定))

6

年度	茅ヶ崎地域のモデル事業	
	茅ヶ崎地域小児等在宅医療連絡会議	茅ヶ崎地域のフィールド
26	<ul style="list-style-type: none"> ○会議の設置 ○課題抽出、解決策の検討 ○「茅ヶ崎地域における取組内容」の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○こども医療センターを中心にモデル事業に位置づけられた事業を実施
27	<ul style="list-style-type: none"> ○進捗状況の確認 ○取組内容の追加・変更 ○報告書等で事例をとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関が「茅ヶ崎地域における取組内容」に沿った取組みを実施
28	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな取組内容の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○上記と同様に実施

他の地域への展開

○ 他への展開に向けた地域への働きかけ

※速やかに取組可能な地域は順次開始

○新たな地域の選定

・行政の担当組織の決定
・関係機関の訪問、協力依頼、事業説明など

○会議設置

以後は同じフローで実施